

掲載日：2026 年 4 月 1 日

研究利用管理番号

2501001、2502003
2503003、2504001

研究内容の説明文

さい帯血提供者説明 用課題名 (括弧内は申請課題名)	移植に用いられるさい帯血の特徴と要因の調査 (医療ニーズの高い移植用臍帯血の要因の分析)
研究期間 (西暦)	2026 年 4 月～2029 年 3 月
研究機関名	日本赤十字社 血液事業本部 技術部 造血幹細胞事業管理課
研究責任者職氏名	臨床検査技師 鹿本 直也

研究の説明

1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等

さい帯血は、白血病などの治療に使われる造血幹細胞（血液の大元となる細胞）を含んでおり、骨髄移植と同じように患者さんに移植することで血液をつくる力を回復させる治療法に使われています。

世界的には、骨髄や末しょう血幹細胞の移植が増える中で、さい帯血の移植は減少傾向にあります。しかし、日本では成人の患者さんを中心に、年間 1,300 例程度の移植が安定して行われています。

一方で、出産件数は少子化の影響で減少しています。そうした中でも、公的さい帯血バンクでは毎年 2,000 本以上のさい帯血が新たに保存・公開されており、安定供給が維持されています。

本研究では、実際に移植されたさい帯血の特徴（細胞数や公開までの期間など）と、新たに保存・公開されたさい帯血の特徴を比較します。これにより、将来の需要に応じた保存体制をどのように維持していくかを考えるための情報を得ることができます。

2 使用するさい帯血等の種類・情報の項目

さい帯血等の種類：さい帯血は使用しません。

さい帯血等の情報：2021～2028 年度に新規公開及びさい帯血移植に利用されたさい帯血の有核細胞数、CD34 陽性細胞数、さい帯血の公開日

さい帯血等を利用又は提供を開始する予定日：2026 年 5 月 1 日

3 さい帯血等を共用する共同研究機関及びその研究責任者氏名

一般社団法人 中部さい帯血バンク 理事長 加藤剛二

特定非営利活動法人 兵庫さい帯血バンク 技術部管理監督技術者 甲斐俊朗

4 さい帯血等を共用しない共同研究機関及びその研究責任者氏名

該当する共同研究機関はありません。

5 研究方法《さい帯血等の具体的な使用目的・使用方法含む》

さい帯血等のヒト遺伝子解析： 行いません。 行います。

《研究方法》公的さい帯血バンク 6 施設（北海道、関東甲信越、中部、近畿、兵庫、九州さい帯血バンク）で公開されたさい帯血について、細胞の数や公開から移植までの期間などの情報を収集し、患者さんの体重（成人 60kg 想定）あたりの有核細胞数と CD34 陽性細胞（造血幹細胞の指標）数がどのような分布になるか集計します。また、実際にさい帯血を移植されたの患者さんの体重やそのさい帯血の有核細胞数、CD34 陽性細胞数及び公開期間なども収集し、治療にどのようなさい帯血が選ばれているかを統計的に分析します。

これにより、新規公開されているさい帯血と実際に移植に使用されているさい帯血の状況を把握し、推移を確認することで、成人患者に求められる細胞量を満たすさい帯血が今後も安定して保存・公開されていくかを検証します。

6 さい帯血等の使用への同意の撤回または研究使用の停止について

さい帯血に関する情報は個人情報切り離され、個人が特定できない状態で提供されます。そのため、本研究にさい帯血の情報が提供される前で、日本赤十字社近畿さい帯血バンクにおいて個人の特定制ができる状態であれば、同意の撤回及び研究使用の停止が出来ます。

7 上記 6 を受け付ける方法

日本赤十字社近畿さい帯血バンクへさい帯血を提供され、同意の撤回もしくは研究利用の停止を希望される方は、当該さい帯血バンクまでご連絡ください。

電話：072-643-1327

本研究に関する問い合わせ先

所属	日本赤十字社 血液事業本部 技術部 造血幹細胞事業管理課
担当者	鹿本 直也
電話	03-3433-5317
Mail	n-shikamoto@jrc.or.jp

本文は近畿さい帯血バンクの Web ページで公開され、必要に応じてさい帯血提供者への説明資料として使用されます。